

## 研究・調査報告書

報告書番号	担当
446	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
題名 (原題/訳)	
Alcohol consumption in young adults and incident hypertension: 20-year follow-up from the Coronary Artery Risk Development in Young Adults Study. 若年成人における飲酒量と高血圧発症: CARDIA 研究	
執筆者	
Halanych JH, Safford MM, Kertesz SG, Pletcher MJ, Kim YI, Person SD, Lewis CE, Kiefe CI.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Am J Epidemiol. 2010 Mar 1;171(5):532-9. Epub 2010 Jan 29.	
キーワード	
アフリカ系祖先群、飲酒、コホート研究、ヨーロッパ系祖先群、高血圧、発症	
要 旨	
<p>飲酒量と高血圧発症との関連は明らかではない。また、大部分の観察研究において社会経済的要因は考慮されていない。そこで、本研究では、様々な特徴を有する対象を含む若年成人集団において、飲酒量と 20 年間の高血圧発症との関連を検証した。</p> <p>参加者は CARDIA 研究の対象者 4711 人(18-30 歳)であり、1985 年にアラバマ州プリンガム、イリノイ州シカゴ、ミネソタ州ミネアポリス、カリフォルニア州オークランドからリクルートされた。</p> <p>非飲酒、過去飲酒、少量飲酒、中等量飲酒、高危険量飲酒の各群における 20 年間の高血圧発症率は、それぞれ、25.1%, 31.8%, 20.9%, 22.2%, 18.8%、であった(p&lt;0.001)。</p> <p>人種・性・年齢・高血圧家族歴・Body mass index・収入・教育歴、および基本・医療保険支払い困難度が高血圧と関連していた。</p> <p>コックス比例ハザードモデルによる補正後、ベースラインの飲酒量と高血圧発症リスクとの間に関連は認められなかった。唯一の例外はヨーロッパ系米国人女性で、現在飲酒は、量によらず、低い高血圧発症リスクと関連していた。</p> <p>社会経済的に多様な集団を含む本コホートにおいて、飲酒と高血圧発症との間にほとんど関連は認められなかった、この結果は確実なものではない。収入・教育歴などの社会的要因を含み、他の飲酒と高血圧との関連を修飾・交絡し得る要因についても考慮した研究により、今後検証されるべきものである。</p>	